

訪日高付加価値旅行に関する 目標値の設定について

観光庁

令和4年1月

1. 目標値設定の目的

- (1) 国全体としての施策の効果や達成状況の確認
- (2) 各地域における目標設定への活用、相場観形成、立ち位置の確認等
 - ※各地域ごとのK P I 設定についても今後検討

2. 目標値設定に係る考え方（方向性）

- 観光庁及びJ N T Oによる先行調査の手法や成果も踏まえ、以下の方向で、我が国全体としての目標値の設定を検討。
 - (1) 目標年次：①2027年(概ね5年間) 及び ②2030年 を念頭に算出
 - (2) 設定指標：総消費額 ※参考値として旅行者数も算出
 - (3) 対象旅行：1人1回あたりの旅行において、航空便等の代金を除く着地消費額が100万円以上の旅行
 - (4) 対象市場：限定せず（全市場を視野）
 - (5) 設定手法：主要なクレジットカード決済データ、訪日外国人消費動向調査結果等をベースに、各データの特徴や傾向を踏まえた補正等を行ったうえで推計。

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワークの拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

- ・訪日外国人**旅行者数**は、**約3.8倍増**の**3,188万人**に
- ・訪日外国人**旅行消費額**は、**約4.4倍増**の**4.8兆円**に

(2012年) (2019年)

836万人 ⇒ 3,188万人

1兆846億円 ⇒ 4兆8,135億円

観光ビジョンで掲げた目標の達成に向けては施策の一層の推進が不可欠

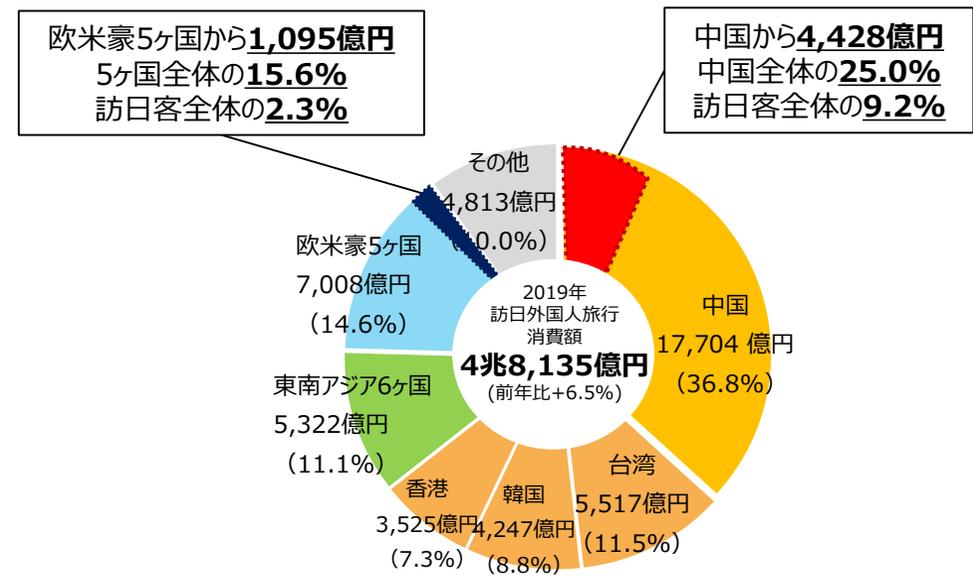
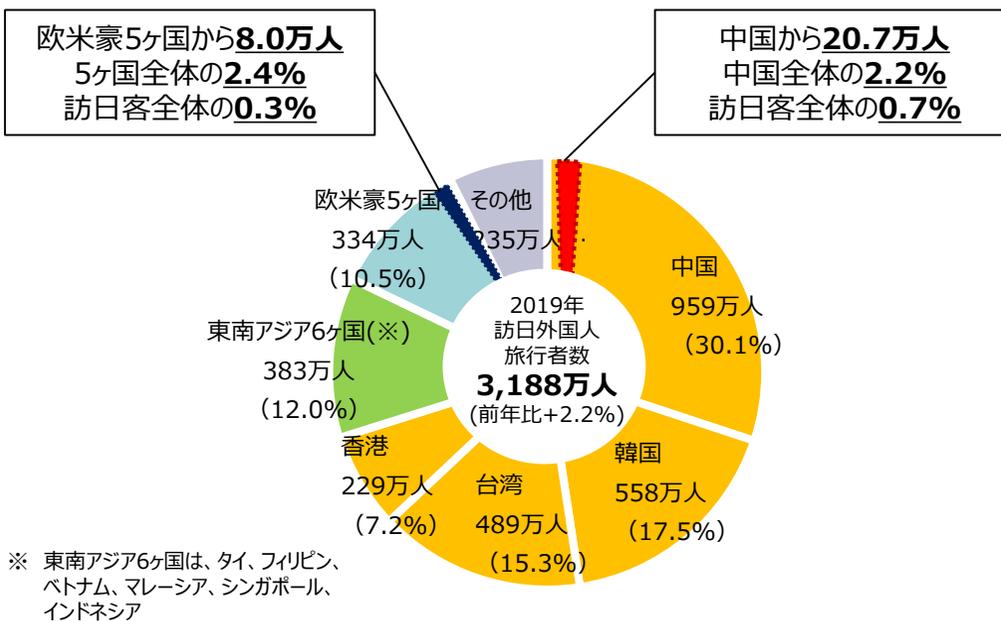
	(実績)	(目標)	参考	(目標)
訪日外国人旅行者数	2019年: 3,188万人	2020年: 4,000万人 (達成率: 79%)	2030年:	6,000万人 (達成率: 53%)※
訪日外国人旅行消費額	2019年: 4.8兆円	2020年: 8兆円 (達成率: 60%)	2030年:	15兆円 (達成率: 32%)※
地方部での外国人延べ宿泊者数	2019年: 4,309 万人泊	2020年: 7,000万人泊 (達成率: 61%)	2030年:	1億3,000万人泊 (達成率: 33%)※
外国人リピーター数	2019年: 2,047万人	2020年: 2,400万人 (達成率: 85%)	2030年:	3,600万人 (達成率: 56%)※
日本人国内旅行消費額	2019年: 21.9兆円	2020年: 21兆円 (達成率: 104%)	2030年:	22兆円 (達成率: 99%)※

※ ()内は2019年実績における2020年、2030年の各目標に対する達成率

✓ 着地消費額100万円／人以上の旅行者は、欧米豪5ヶ国と中国だけでも、全体の1.0%の旅行者で消費額全体の11.5%を占める。しかし、世界の高付加価値旅行者の旅行先において、日本の順位は高くない。（11位～36位）

訪日した富裕旅行者数

富裕旅行者の消費額



	米	英	独	仏	豪
欧米豪5ヶ国の富裕旅行者の海外旅行消費額に占める日本の順位	13位	36位	23位	23位	11位

(出典)JNTO富裕旅行市場調査より作成。クレジットカード利用額データを活用し、訪問先国での旅行消費額、世界での順位を分析。